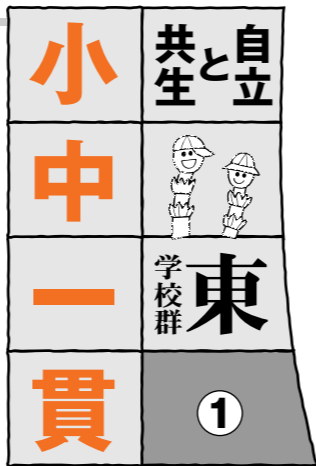




小・中合同のリーダー研修会

東中学校群では、小中学校の連携を大切にすることで、中一ギャップを解消し、児童が希望をもって東中学校（以下東中）に入学できるように、次のような取り組みを行っています。

①小中リーダー研修会
夏休み、東中に小学校の児童会役員が集まり、東中の生徒会役員と情報を交換したり、学校群の目標である「あいさつ、返事、正しいことばづかい」について話し合ったりしました。



目標：あいさつ、返事、正しいことばづかい

- ③東中生徒会が出前学校紹介
一月に東中の生徒会役員が、4つの小学校を訪問して、学校の様子を紹介し、児童の質問（校則やテストなど）に答えて交流しました。中学校での生活がよく分かったと、児童らには好評でした。（①は平成24年度、②・③は平成23年度から実施）



東中の部活動を見学

一緒に活動することによって、リーダーとしての自覚を高め、東中の様子を知ることができて、充実した交流になりました。

②6年生が中学の部活動を見学
東中の定期テスト終了日に、各小学校の6年生が部活動の様子を見学しました。児童らは部活動にとっても関心があり、楽しみにしています。入りたい部活動の参考になりました。

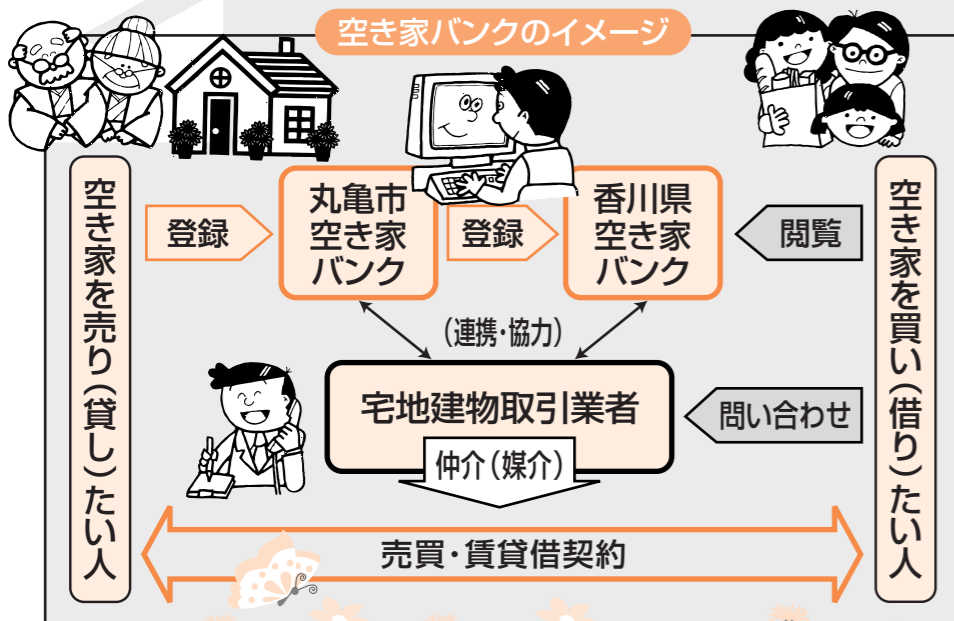
空き家バンクがスタート

— 情報をお寄せください —

政策課
☎24-8839

市では、県の空き家バンク制度を活用した「丸亀市空き家バンク」をスタートさせました。

これは、丸亀市に住みたいという移住希望者への情報を、ホームページで発信し、移住・



交流の促進を図るものです。市内に売却や賃貸を希望する空き家を持つ人がその情報を登録し、県の空き家バンク制度を通して、公益社団法人香川県宅地建物取引業協会と社団法人全日本不動産協会香川県本部のホームページに掲載します。

登録の条件は①個人の所有であること②居住を目的とした建物であること③住むことが可能であること④市税を完納していることです。

登録には、申請書と登録票（所有者本人の申請であること）の提出が必要で、書類審査の後、不動産業者の現地調査もあります。

情報をお待ちしています。詳しくは、市ホームページまたは政策課 ☎24-8839まで、お問い合わせください。

市有財産など
基金は
6億5000万円増加

●市有財産などの現況
(平成23年度末現在)

種別	保有量
土地 (うち共有林)	6,555,744㎡ (1,030,444㎡)
建物	474,257㎡
出資による権利	13億2684万円
債権	7億7400万円
基金	101億 863万円
有価証券	2億5867万円

市有財産のうち、土地・建物には、市庁舎や消防施設、学校、保育施設、公営住宅、公園のほか、山林などが含まれています。

市の貯金にあたる基金は、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、運用するために設けられた市の基本財産です。市には財政調整基金、教育文化体育基金など20の基金があります。平成23年度末の基金残高は101億863万円となっており、前年度と比較して6億5174万円増加しています。この基金残高を市民一人当たりで計算すると、約9万1425円になります。

そのほか、出資による権利として、香川県信用保証協会出資金、市土地開発公社出資金、市水道事業会計出資金などがあります。また、有価証券として、(株)香川県中部流通センター、中讃ケーブルビジョン(株)の株券などがあります。



基金を市民一人当たりで計算すると
9万1425円になります。
(平成24年4月1日現在の人口100,568人)

特別会計 国民健康保険特別会計のみ赤字

●平成23年度会計別歳入歳出決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	120億9949万円	123億7007万円	▲2億7058万円
国民健康保険診療所特別会計	1億 844万円	1億 844万円	0円
公共下水道特別会計	22億1501万円	22億1297万円	204万円
農業集落排水特別会計	1億3392万円	1億3376万円	16万円
駐車場特別会計	1億4360万円	1億4275万円	85万円
後期高齢者医療特別会計	11億2358万円	11億2229万円	129万円
介護保険特別会計	68億6781万円	67億8422万円	8359万円
介護保険サービス特別会計	6176万円	6176万円	0円

特別会計は、特定の事業ごとの経理を一般会計と区別して行う会計で、市には国民健康保険や介護保険、公共下水道など、8つの特別会計があります。平成23年度国民健康保険特別会計が2億7058万円の赤字決算となり、平成24年度の歳入で補填しました。その他の特別会計は黒字決算です。

市債(借入金)の残高 合併特例債で安全安心のまちづくり

●市債の現況(平成23年度末現在高)

①一般会計

科目	金額
土木債	59億1586万円
教育債	99億3680万円
総務債	26億6494万円
衛生債	8億1961万円
民生債	26億2795万円
消防債	38億2015万円
農林水産業債	5億8325万円
減収補てん債	1億7800万円
減税補てん債	15億9202万円
臨時税収補てん債	2億2951万円
臨時財政対策債	136億9365万円
災害復旧債	6430万円
合計	421億2604万円

②特別会計

科目	金額
公共下水道事業債	145億6003万円
農業集落排水事業債	12億3169万円
駐車場整備事業債	6573万円
国民健康保険診療所事業債	3251万円
合計	158億8996万円

③企業会計

科目	金額
水道事業債	90億1915万円
競艇事業債	23億7493万円
合計	113億9408万円

一般会計の市債残高は421億2604万円で、前年度と比較して34億7778万円増加しました。これは、市が進めている安全安心のまちづくり事業の財源として、合併特例債などを発行したためです。なお、この特例債は、償還金の7割が地方交付税として措置されます。今後もこのような有利な制度を活用し、財政負担の軽減に努めながら、まちづくりを進めていきます。

一方、特別会計全体の市債残高は158億8996万円で、前年度と比較して6億2246万円減少しましたが、企業会計である水道事業会計は、配水支管改良工事などに借入れを行ったため、市債残高が90億1915万円となり、3394万円増加しました。競艇事業会計は、新たな借入れがなかったため、市債残高が、2億9937万円減少し23億7493万円となっています。